

代表質問※(要旨)

大井川知事の県政運営の基本姿勢

議員 2期目の大井川県政が本格始動するに当たり、具体的に何を成し遂げ、持続的な成長と県民福祉の向上につなげていくのか。また、どのような信念をもち、県政を運営していくのか。

知事 「新しい茨城」づくりに向け、企業誘致や県産品のブランド化、海外展開など、工夫と深化を重ね差別化に取り組み、産業の活力を高めるとともに、未来を担う人材の育成に大胆な投資を行い、医療や福祉といった県民の安心安全につながる生活基盤の充実を図っていく。今後、座右の銘である「意志あるところに道は開ける」を実践すべく、新型コロナウイルス感染症の早期収束に全力で取り組みとともに「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向



飯塚 秋男 議員
いばらき自民党
下妻市選出

新総合計画の策定

議員 新県総合計画について、持続的に本県が発展を遂げていくグランドデザインを県民に示した上で、納得と共感を得ることが肝要であるが、何に重点をおいて策定するのか。

知事 2050年頃の茨城のグランドデザインとして、強い産業が築き上げられ、グローバル社会で活躍する人材が育ち、革新的技術により安心安全な暮らしが支えられていることなど、「活力があり、県民が日本一幸せな県」が実現されている姿を描いている。また、新たに「いばらき幸福度指標」を導入し、幸福に関する尺度を「見える化」した。計画推進に向け、4つのチャレンジを常に進化させながら加速することにより、県民幸福度No.1の実現に挑戦していく。

県西地域の発展と拠点整備に向けた取組

議員 県西地域の発展に向けた

け、変化や失敗を恐れず、挑戦を続けることで、道を切り開いていきたい。

積極的な企業誘致と産業用地の開発

議員 本県の持続的発展につながる優良企業の立地を見据え、産業用地開発を目指すべきであ

県の方針は。また、砂沼サンプーチ跡地における拠点整備に向けて、どう取り組むのか。

知事 坂東市内に新たな工業団地を造成するなど産業集積を加速するとともに、農産物のブランド力強化や販路開拓を進め、農業の成長産業化に取り組む。砂沼サンプーチ跡地活用については、事業実施の候補者が選定されたが、民間事業者への協力として、民間投資により魅力的で持続可能な活用を図るといふ本事業の趣旨を基本としつつ、施設の広報やイベント誘致など誘客促進の面から民間事業者の取り組みを後押ししていく。

ポストコロナを見据えた観光戦略

議員 コロナとの共生を見据えた観光需要喚起に向けて、県は

いばらき幸福度指標による本県の順位



チャレンジ別

- I 豊かさ: 6位
- II 安心安全: 38位
- III 人財育成: 2位
- IV 夢・希望: 13位

総合 9位



幸福に関する尺度を「見える化」

第1回定例会の主な日程

令和4年第1回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 2月25日(金) **本会議**
(開会、知事提出議案説明)
- 3月2日(水) **本会議**
3日(木) (代表質問・質疑)
- 3月4日(金) **本会議**
7日(月) (一般質問・質疑)
- 3月8日(火) **本会議**
9日(水) (一般質問・質疑)
- 3月10日(木) **常任委員会**
11日(金) (一般質問・質疑)
- 3月14日(月) **常任委員会**
15日(火) (一般質問・質疑)
- 3月16日(水) **本会議**
(予算関係議案常任委員長報告等)
- 3月17日(木) **予算特別委員会**
18日(金) (一般質問・質疑)
- 3月22日(火) **変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会**
- 3月24日(木) **本会議**
(委員長報告、採決、閉会)

● 質問者

3月2日(水) 飯塚 秋男 (いばらき自民党)

3月3日(木) 齋藤 英彰 (県民フォーラム)

高崎 (公進党)

こちらから録画映像でご覧になれます。▶

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

「変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会」の調査結果を報告

本委員会(森田悦男委員長)は、調査の結果を第1回定例会最終日に報告しました。

(調査期間: 令和3年3月24日~令和4年3月24日)

委員会では、県総合計画策定に当たってのメルクマール(指標)とするとともに、変革の時代をリードする強い財政基盤と行政運営を構築するため、新時代の茨城づくりに向けた諸方策の在り方について、設置以降10回にわたり精力的に調査検討を行ってまいりました。



調査結果の報告を行う森田悦男委員長

新たな県総合計画も、委員会からの提言の多くが反映されたところであり、県民の期待と信頼に応えるため、議会としても計画に描かれた夢や希望の実現に向け尽力してまいります。

※調査結果報告書の全文はホームページでご覧いただけます。

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/report/shinjidai.htm>



どのように取り組むのか。

知事 「いば旅あんしん割」については、感染状況を見極めつつ再開時期を適切に判断し、切れ目なく観光需要の早期回復を図っていく。今後は、アウトドア事業者と飲食や配送などの異業種とのマッチングによる新サービス創出など、キャンプやサイクリングを最大限活用した観光地域づくりを推進するとともに、豊富な食資源などの魅力と組み合わせ新たな旅行企画の公募や来県動機につながる名物料理・土産品の開発などにより、観光消費の拡大を推進していく。(ほかに、脱炭素社会の実現に向けた県の方針、本県農業者の所得向上なども質問)